

今週の富大生

# Weekly TOMIDASEI

第32号

経済学部 経済学科  
地域公共政策コース 3年

福井県立武生東高等学校  
(福井県)

ひたむきに努力し、  
地域に貢献できるように



## 早期に意思決定して受験に向かう

中学や高校の総合学習の時間に会計士や税理士の話を聞いて、お金に関わる仕事に興味を持ち、「大学に行くなら経済学部だ」とその頃から考えていました。

高校1年生のときに、希望制で富山大学へバスで向かう機会を高校が作ってくれました。

初めて大学に行き中に入り、直接見ることで富山大学に入学したいと強く思いました。それから調べていく中で、富山大学は学部数が多くいろんな人と交流できそうなこと、経済学部は経済学、経営学、法学が学べて卒業後の進路も幅広く選択できそうだと思いました。

高校1年の段階で「絶対に富山大学の経済学部に入る」と決めて、受験に向かいました。

## 学業優先の大学生活

中学、高校では親に迷惑をかけることもありましたが、大学に進学し、なるべく親には負担をかけないように「学業を頑張る」と決めていました。1年次から授業には必ず出席して、課題もきちんと取り組み提出してきました。経済学部は試験の点数で成績が付く科目も多いので、試験3週間前頃から優先順位をつけて勉強しています。

## ゼミ長として、研究発表会の運営に

経済学部は1年次からゼミ活動があります。僕は3年次で、授業を受けて興味を持った本山先生のマクロ経済学のゼミに入りました。

本山先生のゼミでは毎年12月に他大学と合同で行う研究発表会があり、3年生のゼミ長として運営に携わりました。他大学も含む初対面の学生同士で運営をするということで、連絡の行き違いや会場の確保など、困難な場面もありました。本山先生のアドバイスをいただきながら進め、無事研究発表会を開催することができました。発表会当日は、他大学やほかの学科の発表を聞き、普段勉強していない経営学分野の発表も面白かったです。

## 地元福井に貢献できる人材を目指して

3年次の夏休みに地元である福井県庁の防災対策の部署でインターンシップを経験しました。責任感があり、やりがいがある仕事だと感じました。

福井は2024年3月に北陸新幹線が通り、県全体が大きく変わろうとしているところです。福井県民が魅力に思える場所になっていくよう、行政から地域に貢献したいと考えています。3年次から「公務員試験対策講座」の受講を始めました。富山大学は就職活動のサポートが手厚く、ありがたいです。



## お世話になった高校の先生へ

3年間とてもお世話になりました。先生方に出会えたから今の自分がいます。本当に感謝してもしきれません。ありがとうございました。福井県庁に入庁し、地元貢献していけるよう、公務員試験の勉強を頑張ります！